

議会だより

5月臨時会

第491回臨時会が5月10日に開催され、上程された条例の改正を原案通り可決した。

▼建設工事請負契約について
産地水産業強化支援施設整備事業について、請負契約を増額変更するものである。変更となった契約金額は次のとおりである。

〈変更前の契約金額〉

2億4,045万円

〈変更後契約金額〉

2億7,347万3,550円

変更の主な理由

当初予算計上時においては国費の補助要綱が定まっておらず通常の水産補助事業の補助率(1/2)で計上したが、その後、国費の補助要綱が示され補助率は1/3に減額されたことや、また、採光対策で水槽室のトップライトの追加や恒温室のプログラム制御等々が設計変更となったためである。



レインボービーチ(菱浦)から望む漁業研修施設。「小さな島の新たな挑戦」として海藻種苗研究等が行われる。平成24年7月2日に竣工する。

第37回全国町村議会議長・副議長研修会報告

議長 柏原 廣行

5月29日から30日の2日間にわたり、東京(メルパルクホール・約1500人参加)に於いて開催された。この研修会は、町村議会議長・副議長の研鑽の場として、昭和51年から毎年行っているものである。

第1日目は、議会の活性化への取り組みについて埼玉県嵐山町議会議長 長島邦夫氏から事例発表としてご講演いただき「住民に開かれた町民参加を推進する議会」を目指し取り組み様子や、その活性化に向けての主な取り組み(左記)などが紹介された。

◇ 嵐山議会基本条例

◇ 嵐山町議会議員政治倫理条例

◇ 緑と清流、オオムラサキが舞う嵐山町、ストップ

温暖化条例

また、シンポジウムでは、『今後の町村議会のあり方と自治制度』と題し、山梨学院

大学大学院 社会科学研究所長の今村都南雄氏のご講演があり、パネリストとして牛山久仁氏(明治大学政治経済学部教授)、江藤俊昭氏(山梨学院大学法学部教授)、金子優子氏(山形大学人文学部教授)、岡本三彦氏(東海大学政治経済学部教授)により地方自治法の一部改正や町村議会のあり方について議論が行われた。

さらには、会場からの質問にも対応し、「地方分権に伴い町村議会改革に取り組んでいる」「議会基本条例、自治基本条例の制定も進んでいる」「住民に開かれ、住民と歩む議会を目指しているのではないか」との総評があった。

研修2日目、TVでもお馴染みの山形弁研究家ダニエル・カール氏による「日米文化比較論」東日本大震災後の頑張れニッポンと題し、外国人から見た日本人について、また、人間総合科学大学教授である藤田紘一郎氏による「議員の健康管理術」免疫力を高める生活の勧めについての講演を聴講した。

島根県町村議会議長会 臨時総会

〈東京で開催〉

5月29日、全国町村議会議長、副議長研修会に併せ開催され左記に報告する。

議題

- 1 諸報告
 - 2 平成23年度決算認定
 - 3 平成24年度補正予算
 - 4 役員補欠選任について
- 決算認定、補正予算については原案のとおり承認された。

役員補欠選任については、副会長の千原祥道氏(奥出雲町)が議長を辞任したため、奥出雲町の議長に就任された福本修氏を副会長に全会一致で選任した。

また、監事については川本町の太畑茂久氏が地元議員任期満了により退任。議長再選により引き続き監事に選任した。



隠岐広域連合議会報告

亀谷 潔
波多 紀 昭

平成24年第2回定例会が6月4日に開催され、提出された議案は同意案件1件、承認案件5件、補正予算5件の計11件について審議され、原案のとおり全会一致で可決した。また、一般質問2件が行われた。

◆冒頭、松田連合長が病氣加療のため、山内副連合長が挨拶し、一般質問に答弁した。

◆選任同意は、新隠岐支庁長の和田謙一氏を副連合長に選任するもの。

◆承認案件5件は、一般、介護、隠岐病院、消防、障がい者支援施設各会計の年度末の決算見込みにより不用額を専決処分するもの。

◆平成24年度補正予算の5件は、給与改定、給与削減率の変更、人事異動及び共済組合負担金掛け率の変更に伴う各会計共通のもので、1億9、264万円の増額を行うもの。主なものは一般会計において、超高速船事業費で職員1名の

人件費、予備パワータービン購入費を増額し、臨時職員1名の賃金増額。また消防事業では、新庁舎建設のための用地取得費、用地造成費及び新庁舎設計費を併せ、1億4、009万円を増額。

◆報告事項

ジェットフォイル運航経営計画策定業務について、現在のレインボー2が平成25年11月で退役予定のため、隠岐広域連合が事業主体となり、後継船としてジェットフォイルを導入し、指定管理者制度により管理運営を運航業者に委任することとなった。

超高速船は離島の生活利便に不可欠であり、地域の福祉向上や産業振興にも大きく資するが、隠岐航路を取り巻く現状は厳しいものがある。本業務は、指定管理者を募る際の仕様書の基礎資料となる経営計画を作成するものであり、専門的知識を有するものに委託し、地域の特性を踏ま

えつつ適正で標準的な計画を策定するものである。公募広告を行った結果、(株)アテナが最優秀提案者と決定し、8月末を目処に策定の予定である。

また、次期超高速船船名及び船体塗装デザインの募集要項を近く発表し、賞として船名及びデザインに30万円を予算化する。

諸般の報告

- 4月
 - 監査委員自主研修会
 - 浦郷警察署長歓迎会
 - 保く高連携教育推進協議会懇親会
 - 島後海士会
 - 隠岐広域連合特別委員会
 - 隠岐神社奉賛会総会
 - 隠岐現金出納検査
 - 漁業研修施設見学ツアーレセプション懇親会
 - 松尾秀孝氏島根県副知事ご退任慰労会
- 5月
 - 隠岐ジオパーク推進協議会
 - 第491回海士町議会臨時会
 - 全員協議会(政調会)
 - 隠岐島町村議会臨時会
 - 社会教育委員の会
 - 例月現金出納検査
 - 隠岐広域連合議会全員協議会
 - レスリングフェスティバル
 - 第35回関東海士後鳥羽会総会はつぴーこーでいねーたーの会
- 6月
 - 隠岐広域連合議会定例会
 - 環境美化推進対策会議
 - 広報調査特別委員会
 - 同和教育推進協議会総会
 - 全員協議会
 - 議会運営委員会



H26.3 就航予定のジェットフォイル (隠岐広域連合写真提供)

【編集後記】

■平成24年度がスタートして四半期が経過した。山内町政では初めての大規模な人事異動が行われ、対象になった職員の奮闘ぶりが垣間見え、異動は行政推進上致し方のない策かと思うが、異動された職員には新たな職務に精進され円滑な業務推進に努めて下さることを期待している。

■5月に代掻きした田んぼに定植された幼い弱々しかった稲苗は、2ヶ月近く経って、自然の恵みや肥培管理によつて緑一色の美田に変化した。間もなく出穂の時期を迎えるが、順調に生育してみのりの秋に収穫の喜びをもたらしてくれることを念じている。

■7月27日に4年に一度開催されるオリンピック夏の大会がロンドンで開会式を迎える。日本中が経済不況、政治の困迷、電力不足、震災復興等と何かと暗いニュースが多い中、日本選手の活躍によつて日本に活力を与えてくれるよう期待したい。

(文責 上田正子)